

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	安全		責任者	総務部 危機管理課長
施策名	防災・危機管理機能の強化		連絡先	052-654-7813
事務事業名	防災対策におけるシステムの管理・運用		連携課	
目的	対象(誰・何を)	防災に資する各種システム		
	意図(どういう状態にしたいか)	適切に点検・管理し、災害時の防災対策及び防災活動に活用します。		
概要	港湾用防災無線局、防災気象・潮位予測情報システム(MICOS)及び緊急地震速報システムを適切に点検・管理し、防災対策及び防災活動に活用します。		根拠法令等	名古屋港管理組合 防災計画
活動内容	港湾用防災無線局:年間保守点検、通信テスト(月1回) MICOS:年間保守点検、災害対策本部での活用 緊急地震速報システム:年間保守点検 職員参集システムの運用		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	25年度	26年度	27年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	9,577	13,355	10,780	11,237	
人件費	千円	7,008	7,047	7,135	7,063	
合計	千円	16,585	20,402	17,915	18,301	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
保守点検(システム)	目標	-	3	3		3	各システムにおける年間保守点検の実施	
	実績	3	3	3				
(単年度管理型)	事業進捗状況(27年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る			
訓練、防災対策等での活用(回)	目標	-	16	16		16	防災無線通信テスト 12回 メールテスト 4回	
	実績	14	16	16				
(単年度管理型)	事業進捗状況(27年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	良好な結果を得られているため、この状態の維持に努めていきます。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 災害時において防災対策及び防災活動に不可欠な情報収集及び情報発信を実施するため、当該システムを管理運用することは、本組合として必要な事業です。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○						
	期待どおりの成果が得られているか?	○ 各システムを適切に点検・管理することにより、災害時において正常に活用が可能です。						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 最低限必要な保守点検費用、人件費で実施しました。						

4 ACTION(取組)

課題	28年度以降の取組
確実な情報収集・伝達を継続していく必要があります。	今後も引き続き、確実な情報収集・伝達を継続していきます。